

Title	ジヨシツフ・マツシイ編 一千五百五十七年より一千七百六十三年に至る商業・通貨及び救貧法に関する書篇及び小篇蒐集目録
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1938
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.32, No.2 (1938. 2) ,p.281(129)- 286(134)
JaLC DOI	10.14991/001.19380201-0129
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19380201-0129

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

立つのであら。(第四章)

資本主義においては、生産に對する刺戟は利潤によつて行はれる。これあるがために、生産の増加が促進せらるゝとする。社會主義の場合には、その窮極の到達點において、必要に應じての物品の配給を行ひ、能力に應じての労働をなさしめるのであるが、その現段階の下においては、生産増大のために、個數貸銀制や、生産競争制(スタハノフ運動)などが行はれてゐる。さうして見れば、この場合においても、社會主義下においても、資本主義下におけると同じやうな方法が、採用せられてゐるものと見ることが出来る。たゞ資本主義下においては競争の制度が、これを促進し、これに利潤の問題が關係して来る。従つて一般的保健に關係する食糧の如きものの生産及び配給について、資本主義下においては、利潤の獲得を主とする建前から、粗悪品の如きを供給し易い傾向は認めなければならぬ。(第五章及び第六章)

これらの問題の如きものが、社會主義と資本主義の經濟組織としての問題中、重要なものである。ピグーは、その正統學派の傳統を守る巨匠としての立場から、資本主義に同情を懷いており、社會主義に對して、より批判的である。殊に、資本主義について、問題となり得る點は、社會主義においても問題たり得ることを強調してゐる。この點において、このピグーの著述は、兩者の當失を考察しやうとするものに對して、特に研究を要するものであらう。しかし、ピグーは、資本主義に同情を持つてはゐるものの、これを絶對的に支持しようといふのではない。資本主義の漸進的修正によつて、その社會問題的害悪を漸減して行き、その最大の能率を發揮せしめやうといふのが、その立場である。僅々百五十頁に充たぬ小冊子ではあるが、社會主義に對する一批判として聽くべき多くのものを持つてゐる。一讀をすゝめる所以である。

ジョンソン・マッシー編 一千五百五十七年より
 一千七百六十二年に至る商業・通貨及び救貧
 法に關する書篇及び小篇蒐集目録

高橋 誠一郎

第十八世紀經濟學說史上に於いて重要な地位を占むる者にジョンソン・マッシーの在ることは普く人の知る所である。彼れは一千七百五十年の『自然利率論』(An Essay on the Governing Causes of the Natural Rate of Interest; wherein the sentiments of Sir William Petty and Mr. Locke, on that head, are considered.)を初めとして、幾多の貴重なる小冊子を公にしたのみならず、長き年月と費用とを費して、一千七百六十年に至る迄に、英國の商業・鑄貨及び植民地に關する二千五百部以上の書篇及び小篇を蒐集し、而して其の蒐集の業を抛棄して後も、商業關係書籍目録の編纂を繼續し、一千七百六十四年十一月二十九日に至り、之れを二千三百七十七項に達せしめた。現今、大英博物館に所藏せらるる Catalogue of the Massie Collection of Tracts (Lansdowne MS. 1049.)が是れである。(昭和七年版拙著『重商主義經濟學說研究』五九八—九頁参照)。

今茲に紹介せんとする Bibliography of the Collection of Books and Tracts on Commerce, Currency, and Poor

ジョンソン・マッシー編 一千五百五十七年より一千七百六十二年
 に至る商業・通貨及び救貧法に關する書篇及び小篇蒐集目録

二二九 (二八一)

ジョンソン・マッシー編一千七百五十七年より一千七百六十二年
に至る商業・通貨及び救貧法に關する書篇及び小篇蒐集目錄

一三〇 (二八二)

Law, (1557-1763), formed by Joseph Massie (died 1784). は、此の蒐集目錄の印刷である。The History of Currency, 1252-1894. 其の他の著者として知らるる老學者ウィリアム・ヘー・ショー (William A. Shaw) の序文を附して、昨一千九百三十七年倫敦デ・ロイヂ・ハーディンク書店より出版せられたるものである。編者は尙ほ序文の後にマッシー自身の著作目錄二十五頁を加へてゐる。

吾人が前掲拙著中に記したるが如く、マッシーは其の蒐集せる資料を利用して『大英國商業史』及び『實驗商業要論』の二書の準備を企圖せるものである。而して彼れは、從來の小冊子記者の如く、經濟學が、主として商業上に於ける其の私的利益を増進せんと試むることなく經濟上の「定則」を發見せんと欲する廣汎なる知識・精練せられたる理性及び不偏にして堅固なる判断を有する人々に依つて論究せらる可き高等教育及び學問の一分科たることを承認せしめんとし、而して之れにペーコン哲學の歸納法を適用せんとせるものであると看做されてゐる。(前掲拙著五九九頁)。然るに本書の編者はマッシーの出版せる事實上總べての著作を閱讀したる後、漸次、彼れの心意は異常なる獨創と鋭敏とを有するものではあつたが、而も彼れの外観は主として政治的であり、論争的であつたと云ふ確信を有するに至つた。一部の經濟學者等によつて彼れの最も獨創的な著作と看做されてゐる一千七百五十六年の小冊子にして時の國務卿大ウィリアム・ピット(チャタム伯)に献本せられた Calculations of taxes for a family of each Rank, Degree of Class for one year. の如きは、縱令ピットの命によつて起草せられたものではないにしろ、彼れを支持するが爲めに筆を執つたものであることが明かである。彼れは眞きにロバート・ハリー及びボーリングブルック子の通商政策を援護せる『ロビンソン・クルソー』の作家ダニエル・デッフォと同一の地位に立つものである。唯だ、彼れは商業及び統計學の實際的直接的知識に於いては、完全にデッフォを凌駕するものである。

が、而も、此の天の成せる小冊子記者の力量と拳鬪的手腕とを以つて當面の係争問題を論ずることが出来なかつたのである。彼れの目的が論争的、時局的でなかつたならば、——彼れが經濟學上に於ける思索家たることを自識して居つたならば、經濟學史上に於ける彼れの地位は今、高貴にして拒否せられ得ざるものであつたであらう。(Bibliography, pp. i-ii.)

マッシーは其の生涯に就いては殆んど何物も知られてゐないのであるが、編者は彼れの諸小冊子の内容より推して、彼れを以つて恐らくは倫敦の砂糖商であつたらうと做し、不景氣か、戦争か、若しくは栽培業者の販賣方法の變化かに由つて廢業の已むなきに至り、(A State of the British Sugar Colony Trade, 1759.)、其の後、海軍省と一定の接觸を有し、ヘンリー・ビロン・ナン (Henry Bilson-Legge) を通じて同省で一定の地位を求めたるか、若しくは單に彼れによつて小冊子記者として利用せられたる過ぎたるものなる可しと觀し、(A Proposal for making a saving to the Public of many thousand pounds a year in the charge of maintaining His Majesty's Marine Forces and for the better regulation of them, 1758; Facts which show the necessity of establishing a regular method for the punctual, frequent and certain payment of seamen employed in the Royal Navy, 1758.)、次に其の A Representation concerning the knowledge of Commerce as a National concern: pointing out the proper means of promoting such knowledge in this Kingdom, 1760. を著し、經濟上及び商業上の事實に關する組織的系統的なる國家的集輯並びに商業史要綱の編纂を歎願し、此の方面に於いて職を得んとせるものではあるまいかと説してゐる。(Bibliography, pp. iii-x.)

マッシー、其の人の生涯と等しく、彼れの蒐集の運命も亦、不明の裡に埋れてゐるが、編者は一千七百六十四年十

ジョンソン・マッシー編一千七百五十七年より一千七百六十二年
に至る商業・通貨及び救貧法に關する書篇及び小篇蒐集目錄

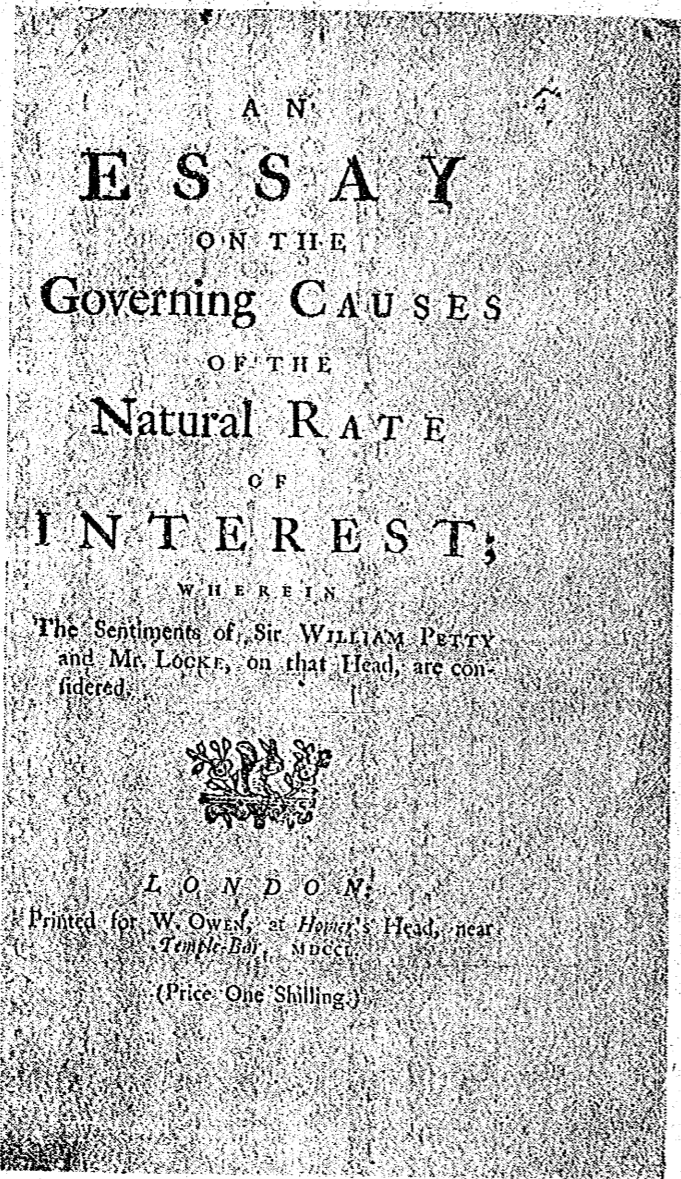
一三一 (二八三)

ジョシツフ・マツシイ編一千五百五十七年より一千七百六十三年
に至る商業・通貨及び救貧法に關する書篇及び小篇蒐集目錄

一三二 (二八四)

二月以後に於いてシエルバーン伯、即ち後のランスダウン侯が一纏めに之れを購入し、彼れが入念に編纂せる目錄も亦、之れと同時に、シエルバーンの所有に移り、斯くして又、最後に大英博物館の所蔵に歸し、而して、彼れの蒐集は一千八百〇八年、ランスダウンの賣立と共に倫敦インスチテュションに移れるものに非ずやと想像してゐる。而も編者は現ランスダウン侯爵未亡人を煩して、一千七百六十年より同八十四年に至る書類を調べて貰つたのであるが、シエルバーン伯がマツシイの蒐集を購入せる何等の證據をも發見することが出來ず、又、倫敦インスチテュション圖書館の目錄中にはマツシイの蒐集中より出でたるものと認むるを得る一の品目をも看出することが出來なかつた。(Ibid., p. xi.)

吾人は前掲拙著中に於いて、「初めて貨幣の概念を資本の其れより區別し、一國內に於ける利率の高は該國家の所有せる通貨の量に依頼するに非ずして、其の富若しくは資本の其れに依據するの事實を闡明したる者は、かのド・ム・バツァークの言ふが如く、ヒューム其の人に非ずして、彼れよりも二ヶ年の以前に於いて、マツシイの著あるを記憶せざる可らず。而も、吾人は又、マツシイを隔つる六十年の昔に於いてニコラス・バーボンの在りしことを想起せざる可らず。マツシイは果してバーボンに學びしや否や、彼れの集輯せる前掲一千五百の經濟書目中には此の書の内容を見ざりしが如し」と記したのであるが(同書六一頁)。今、本書目を見るに及んで、其の一千八百八三號にビー・エヌ(B.N.)、即ちバーボンの著 Discourse of Trade. 12mo. pp. 92. Tho: Milbourn. 1690. 〇記入存し、更に一千三百七十八號に其の Discourse on Coining new Money Lighter. 12mo. pp. 96. Richard Chistwell. 1696. を擧げてゐる事が明かと爲つたが、而もシ・ロー氏はマツシイの「試論」を閲讀して、彼れは其の意見をバーボンより得たるものに非ずと斷じてゐる。(Bibliography, p. xv.)



ジョシツフ・マツシイ編一千五百五十七年より一千七百六十三年
に至る商業・通貨及び救貧法に關する書篇及び小篇蒐集目錄

一三三

(二八五)

ジョンソン・マッシー編一千五百五十七年より一千七百六十三年
に至る商業・通貨及び救貧法に關する書簡及び小篇蒐集目錄

一三四 (三八六)

編者は又、本書目に少數の註記を施してゐるが、其の三百八十二號及び三千八百八十三號に掲げられてゐるダブ
ルノー・ヘス(S. W. Gent.)の署名ある一千五百八十一年版並びに沙翁(Shakespeare, William, Gent.)の署名あ
る一千七百五十一年版の Examination of Complaints. の眞著者を以つて、エリザベス・ラモンド嬢が殆んど確信を
以つてジョン・ホールズに歸せる所であるが、今日に於いては彼の女の意見は反對を受け、其の眞著者はサー・ト
マス・スミス(Sir Thomas Smith)なりと主張せらるゝ旨を記してゐる。吾人の如きもサー・トマス・スミス説あ
ることを舊著中に於いて一言して置いたのであるが、(前掲書二三一、二三三頁参照)、此の點に關する叙述は只管ラ
モンド嬢の意見を傳へたるものであつて、サー・トマス・スミス説が確證を得るに至つたならば、固より之れを訂
正せざるを得ざるものである。

爰にはマッシーの書目刊行を紹介するの序でに、彼れの最初の小冊子『自然利率論』の表題頁を私藏本より撮影
して掲ぐることにした。

(菊版一七三頁丸善書店賣價金十二圓七十五錢)

前號(第三十二卷)目次

- 商品としての浮世繪版書 高橋誠一郎
- 統制經濟と再生産過程 武村 忠雄
——『統制經濟と景氣變動』研究の一節——
- 車輛信託の若干問題 金原賢之助
佐々木曉秀
- 領主の困窮と村方の負擔 野村兼太郎
(社會經濟史資料紹介)
- 「巴里伯」アンリイ著 下田 博
——Henri (Comte de Paris), Le Proletariat, 1937.——
- Robert R. Kuczynski: Colonial
Population, 1937. 山本 登
- Dr. Hans Schlie: Die britische
Handelspolitik seit Ottawa und ihre
weltwirtschaftlichen Auswirkungen.
1937. 岩田 俊

●一冊定價金五拾錢 郵税金壹錢五厘
●半年分金貳圓九拾錢 郵 稅 共
●一年分金五圓四拾錢

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和十三年十一月廿一日印刷納本
昭和十三年二月一日發行 每月一回一日發行

三田會學雜誌
禁 轉 載
東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
編輯者 江 田 範 保
發行所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地
印刷者 金子 鐵 五 郎
第三卷第二十三號 印刷所 金子 活 版 所

發賣元 東京市芝區三田二丁目一番地
丸善株式會社三田出張所

●尙ほ本誌は全國各市雜誌店にて販賣す
電話三田(45) 一九二六番
振替口座東京 一一八五二番

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會

振替 慶應義塾 芝區三田二丁目二番地
口座 東京 一八二〇四番